



## 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月4日

上場会社名 株式会社 セキド

上場取引所 東

コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 薫子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭

TEL 03-6279-0562

四半期報告書提出予定日 平成23年10月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年2月期第2四半期の業績(平成23年2月21日～平成23年8月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	8,965	△9.9	△282	—	△304	—	△396	—
23年2月期第2四半期	9,951	3.8	△193	—	△201	—	△231	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	△27.93	—
23年2月期第2四半期	△16.34	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	10,736	5,160	48.1	363.99
23年2月期	10,770	5,582	51.8	393.71

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 5,160百万円 23年2月期 5,582百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0.00	—	1.00	1.00
24年2月期	—	0.00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年2月期の業績予想(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	5.4	145	184.3	100	278.1	20	24.0	1.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年2月期2Q	14,204,289 株	23年2月期	14,204,289 株
② 期末自己株式数	24年2月期2Q	25,789 株	23年2月期	25,589 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年2月期2Q	14,178,618 株	23年2月期2Q	14,178,807 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は本日付で終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興に向けた取り組みが下支えする一方、原発事故の影響による夏の電力不足と大型台風の直撃など、天候不順の影響もあり、個人消費の本格的な回復には至らず、引き続き低調に推移いたしました。

当業界におきましても、記録的な猛暑であった昨年に比べ、夏本番での大型台風直撃や低い平均気温など不安定な季節要因の影響が大きく見られました。また、7月の完全地デジ化を挟んで、駆け込み需要は見られたものの、その反動も大きく、さらには欧米の財政不安を背景とする、急激な円高による株式市場の低迷などにより、先行きの不透明感は依然強く、総じて厳しい状況でありました。

このような経済状況のもとで、当社は、売上と利益の確保に向けた営業戦略への取り組みを行ってまいりました。ファッション部門では、5月に出店したGINZA LoveLoveを旗艦店とするインターネットショップも含むファッション部門全体のブランディング戦略の強化に努めました。また、家電部門では7月に地域のお客様に省エネ家電を提案する新規店舗を出店し、震災と計画停電の影響等で減少した売上高の確保に努めました。四半期前半は目前に迫った完全地デジ化に向けた薄型テレビの駆け込み需要に加え、電力不足によるお客様の省エネ志向を反映し、高付加価値商品の販売が好調に推移いたしました。後半は最需要期の台風直撃と冷夏の影響でエアコンの販売が伸びず、四半期全体としては苦戦いたしました。

利益面では、携帯端末を利用する新顧客管理システム（LPCモバイル）への移行により、広告宣伝費（ポイント引当金繰入額を含む。）の削減を行なうなど、販売管理費の抑制に努めました。なお、特別損失としてシステム移行に伴う旧システム関連の固定資産除売却損10百万円などを計上しております。

これらの結果、売上高は5,042百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業損失は41百万円（前年同四半期は16百万円の営業損失）、経常損失は53百万円（前年同四半期は22百万円の経常損失）、四半期純損失は78百万円（前年同四半期は45百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [家電部門]

家電部門では、地域のお客様に省エネ家電を提案する新規店舗である『エコライフ・サポートでんきのセキド川越店』を出店し、第1四半期に計画停電の影響等で減少した売上高の確保に努めましたが、最需要期の台風直撃と冷夏の影響でエアコンの販売が伸びず、売上高は2,306百万円（前年同四半期比7.3%減）、経常利益は12,472百万円となりました。

#### [ファッション部門]

ファッション部門では、GINZA LoveLoveを旗艦店とするインターネットショップも含むファッション部門全体のブランディング戦略の強化に努めた結果、売上高は2,687百万円（前年同四半期比0.1%減）、経常損失は33百万円となりました。

#### [その他]

その他部門では、売上高は48百万円（前年同四半期比0.7%減）、経常損失は31百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①財政状態

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ34百万円減少し10,736百万円となりました。これは主に、新規店舗の出店などによる有形固定資産の増加95百万円、システム入替による無形固定資産の増加38百万円がありましたが、営業保証金の返還100百万円、資産除去債務に係る会計基準の適用に伴う敷金及び保証金の減少42百万円などにより敷金及び保証金が176百万円減少したことなどによるものであります。

一方、負債合計は前事業年度末に比べ387百万円増加し5,575百万円となりました。これは主に、長短借入金241百万円、仕入債務が125百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ421百万円減少し、5,160百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上396百万円と利益剰余金の処分14百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は48.1%（前事業年度末は51.8%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期会計期間末に比べ1,094百万円増加し1,441百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において営業活動の結果得られた資金は736百万円（前年同四半期比580.0%増）となりました。これは主に、たな卸資産が336百万円減少したこと、仕入債務が285百万円増加したことなどによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において投資活動の結果回収した資金は11百万円（前年同四半期は95百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の純減少42百万円、有形固定資産の取得による支出59百万円、差入保証金の回収44百万円などによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において財務活動の結果増加した資金は346百万円（前年同四半期比69.8%増）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額215百万円、長期借入金の入金150百万円などによるものであります。

## （3）業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては修正しておりません。当社の業績は第2四半期並びに第4四半期会計期間のウェートが高くなっております。引続き厳しい環境が続くものと推測されますが、セキドとラブラブのお客様ひとり一人のニーズに応えられるきめの細かな販促と接客を徹底し、上半期のマイナスを取戻し、通期業績の黒字を確保してまいり所存であります。

なお、平成23年4月15日に公表した配当予想についても変更はありません。

## 2. その他の情報

### （1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### （2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### （資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業損失、経常損失がそれぞれ10,770千円増加し、税引前四半期純損失が66,059千円増加しております。

### （3）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,533,567	1,580,737
売掛金	586,308	558,356
商品	4,655,577	4,580,334
その他	578,912	611,736
貸倒引当金	△26,564	△26,198
流動資産合計	7,327,800	7,304,966
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	381,857	324,201
土地	854,400	854,400
その他（純額）	192,097	153,818
有形固定資産合計	1,428,354	1,332,420
無形固定資産	272,428	233,769
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,616,872	1,793,252
その他	91,122	106,224
投資その他の資産合計	1,707,995	1,899,477
固定資産合計	3,408,779	3,465,667
資産合計	10,736,580	10,770,633
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	117,821	227,967
買掛金	945,768	710,237
短期借入金	2,255,004	2,455,500
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	58,639	38,958
未払金	503,735	454,805
賞与引当金	30,000	45,000
ポイント引当金	—	80,000
その他の引当金	7,500	10,470
その他	153,638	187,394
流動負債合計	4,112,107	4,250,332
固定負債		
社債	140,000	160,000
長期借入金	587,348	145,000
退職給付引当金	268,378	264,405
役員退職慰労引当金	97,990	92,420
繰延税金負債	8,865	10,451

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月20日)
リース債務	209,940	154,559
資産除去債務	20,464	—
その他	130,604	111,197
固定負債合計	1,463,591	938,033
負債合計	5,575,698	5,188,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,979,932	2,979,932
資本剰余金	2,568,749	2,568,749
利益剰余金	△374,718	35,463
自己株式	△3,857	△3,841
株主資本合計	5,170,105	5,580,303
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,224	1,964
評価・換算差額等合計	△9,224	1,964
純資産合計	5,160,881	5,582,267
負債純資産合計	10,736,580	10,770,633

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)
売上高	9,951,046	8,965,614
売上原価	7,511,753	6,825,589
売上総利益	2,439,292	2,140,025
販売費及び一般管理費	2,632,649	2,422,808
営業損失(△)	△193,356	△282,783
営業外収益		
受取利息	6,308	5,290
受取配当金	1,283	1,050
その他	4,512	3,880
営業外収益合計	12,104	10,222
営業外費用		
支払利息	19,579	27,214
その他	896	4,562
営業外費用合計	20,476	31,777
経常損失(△)	△201,727	△304,338
特別損失		
固定資産除売却損	15,058	14,495
賃貸借契約解約損	—	5,413
災害による損失	—	4,098
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	54,469
その他	1,380	895
特別損失合計	16,438	79,372
税引前四半期純損失(△)	△218,165	△383,710
法人税、住民税及び事業税	13,557	12,530
法人税等調整額	△111	△238
法人税等合計	13,446	12,291
四半期純損失(△)	△231,612	△396,002



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△218,165	△383,710
減価償却費	72,092	94,996
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,910	△15,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	7,568	△80,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△41,491	3,973
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,170	5,570
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,768	366
受取利息及び受取配当金	△7,592	△6,341
支払利息	19,579	27,214
固定資産除売却損益(△は益)	15,058	14,495
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	54,469
売上債権の増減額(△は増加)	△5,012	△27,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	△548,796	△75,242
仕入債務の増減額(△は減少)	△503,988	161,266
未払金の増減額(△は減少)	△160,605	17,856
未払消費税等の増減額(△は減少)	△81,560	△35,446
その他	28,541	133,299
小計	△1,385,525	△109,897
利息及び配当金の受取額	5,321	4,398
利息の支払額	△20,213	△27,534
法人税等の支払額	△24,657	△26,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,425,074	△159,064

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△58,000	△60,000
定期預金の払戻による収入	34,500	149,000
有形固定資産の取得による支出	△125,440	△96,214
無形固定資産の取得による支出	△60,799	△7,399
差入保証金の差入による支出	△48,829	△67,026
差入保証金の回収による収入	22,519	58,051
貸付金の回収による収入	10,000	—
その他	△11,702	△8,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,752	△31,676
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	395,000	△175,500
長期借入れによる収入	—	550,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△132,648
社債の償還による支出	—	△20,000
配当金の支払額	△13,767	△13,667
セールアンドリースバック取引による収入	—	54,111
リース債務の返済による支出	—	△26,334
設備関係割賦債務の返済による支出	△8,297	△3,358
その他	△10	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	342,924	232,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	△16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,319,952	41,829
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,302	1,399,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	489,350	1,441,567

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、営業本部に家電製品の小売を行う家電事業部と海外ブランドファッション製品などの装身具の小売を行うファッション事業部を置き、それぞれの事業部は取り扱う商品、サービスについての事業計画を策定し、その実現に向けての施策の実行と結果の分析を行うことにより業績の向上に努めております。

したがって、当社は、事業部を基礎とする商品・サービス別のセグメントから構成されており、「家電事業」及び「ファッション事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間（自平成23年2月21日 至平成23年8月20日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	家電	ファッショ ン	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,945,388	4,925,349	8,870,738	94,876	—	8,965,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,945,388	4,925,349	8,870,738	94,876	—	8,965,614
セグメント利益	△117,058	△164,561	△281,620	37,183	△59,902	△304,338

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収支を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△59,902千円は、本社経費等の調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の経常利益としております。

当第2四半期会計期間（自平成23年5月21日 至平成23年8月20日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	家電	ファッショ ン	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,306,769	2,687,446	4,994,215	48,067	—	5,042,283
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,306,769	2,687,446	4,994,215	48,067	—	5,042,283
セグメント利益	12,472	△33,814	△21,341	14,303	△46,188	△53,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収支を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△46,188千円は、本社経費等の調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の経常利益としております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況  
商品別販売実績

セグメント別	金額 (千円)	前年同期比 (%)
家電部門		
一般家電	759,991	94.2
AV家電	688,007	115.0
季節家電	578,480	74.9
情報家電	248,376	90.6
その他	31,913	86.2
小計	2,306,769	92.7
ファッション部門		
貴金属	374,466	89.9
時計	691,027	97.9
バッグ・雑貨	1,554,210	103.7
ファッション衣料	67,742	97.9
小計	2,687,446	99.9
その他	48,067	99.7
合計	5,042,283	96.5

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメントと商品群の対応関係は、以下のとおりであります。

##### 家電部門

一般家電…冷蔵庫、調理家電、洗濯機、クリーナー、理美容器具、照明機器、部品・修理収入等

AV家電…ラジカセ・オーディオ機器、ビデオ関連機器、テレビ等

季節家電…冷・暖・空調機器及び関連工事収入等

情報家電…パソコン、携帯電話等

その他…ゲーム機器・ソフト、受取保証料

##### ファッション部門

貴金属…指輪、ネックレス、イヤリング、喜平等

時計…腕時計、掛置時計、喫煙具等

バッグ・雑貨…ハンドバッグ、財布、ベルト、メガネ等

ファッション衣料…スーツ、ジャケット、コート等

その他…テナント収入等

※ フランチャイズ売上高は、家電部門の各商品群に含めて表示しております。